

令和7年度 長崎市立三重中学校 経営方針

＜長崎市教育方針＞

長崎市の教育は、学校・家庭・地域が一体となって、創造的で豊かな人間性を備えた次代を生きぬく子どもたちの育成をめざすとともに、市民一人ひとりがいきいきと学び、心身ともに豊かな人生を送ることができる社会の実現に努める。

とくに、本市がめざす「個性輝く世界都市」「希望あふれる人間都市」と、長崎の歴史・文化・自然の特性を踏まえ、平和を希求し、国際性と郷土愛あふれる市民の育成に努める。

＜長崎市教育努力目標＞

- 自ら学ぶ力と豊かな心を育てる学校教育の実現
- 平和希求の心を培う教育の推進
- 平等な社会づくりをめざす人権教育の推進
- 心豊かで、たくましく生きる青少年の育成
- ふれあい、学びあうまちづくりの推進
- 潤いとゆとりをもたらす市民文化の振興
- 健康な心とからだを育む体育・スポーツの振興

長崎市第五次総合計画	長崎市教育振興計画
<p>G 1：長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます</p> <p>G1-1：「確かな学力」の向上を図ります</p> <p>G1-2：健やかな心と体を育成します</p> <p>G1-3：家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります</p> <p>G1-4：安全・安心に学べる教育環境を整備します</p>	<p>＜基本理念＞</p> <p>体験や人とのかかわりの中で、豊かな心を育み、生涯にわたって、自分らしく生き抜く長崎人の育成</p> <p>○心の教育の充実 ○確かな学力の向上</p> <p>○健やかな体の育成 ○教育環境の充実</p> <p>○信頼される学校づくりの推進</p>

＜ 教育目標 ＞

確かな学力と健やかな心と体を持ち、自信と誇りをもって行動する生徒の育成

＜ 校 訓 ＞

『信愛』

『努力』

『頑健』

互いに信じて仲良くしよう 不断の努力を続けよう 心も体も健康でたくましくなろう

めざす生徒像	めざす職員像
○目標達成のために主体的に考えることができる生徒	○和みの職員室を創り出す職員
○目標達成のために協力できる生徒	○生徒を知り、実態に即して指導できる職員
○目標達成のために粘り強く取り組む生徒	○本校に根付いて教育活動を推進する職員

1 『確かな学力』の向上を図ります・・・G1-1	
具 体 策	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の習慣化 ○学習規律の確立 ○基礎・基本の定着 ○個に応じた指導の充実 ○表現力の育成
指導・支援の重点化	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しを立てたり振り返ったりする学習指導の重視 ○「キュビナ」、「あじさいスタンダード」等の活用と指導の徹底 ○授業形態の改善と工夫と人事評価制度による具体的な実践と的確な評価 ○繰り返し指導や補充的学習等、指導方法の工夫と充実 ○全ての教育活動で数多くの表現する機会を設定
2 健やかな心と体を育成します・・・G1-2	
具 体 策	<ul style="list-style-type: none"> ○『命』の教育の充実 ○人権教育の充実 ○教育相談体制の充実（SC、SSW、関係機関と連携） ○食育の推進 ○運動や遊びの推奨 ○フッ化物洗口の実施
指導・支援の重点化	<ul style="list-style-type: none"> ○ながさきっ子の心を見つめる教育週間や朝読書の充実 ○個性の尊重・道徳の授業の充実・いじめを生まない雰囲気作り ○「自尊感情」を感じ取れる「心の居場所づくり」 ○給食を活用し、家庭と連携した食と健康の意識化 ○体を動かすことの習慣化 ○虫歯予防と健康の意識化
3 家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります・・・G1-3	
具 体 策	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員が生徒と向き合う時間の確保 ○保護者や地域と相互に協力し合う体制作り ○学校評価をコミュニケーションツールとした連携の強化
指導・支援の重点化	<ul style="list-style-type: none"> ○人的・物的資源の活用と業務の優先順位を考えた効率的な働き方の推進 ○ペーロンなどの地域行事・学校行事・育友会行事への積極的な参加 ○学校評議員、民生委員、関係機関等との連携と情報交換 ○学校・学級だより、ホームページ等の定期的な発行による情報提供

安全・安心に学べる教育環境を整備します ・・・G1-4	職員の資質向上
<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアル点検と定期的な訓練 ○校内外の定期的な安全点検の実施 ○季節の花に恵まれた校内環境の提供 ○掲示教育の充実 ○感染症の感染防止 	<ul style="list-style-type: none"> ○OJTを通じて日常的に学び合う校内研修の充実と各種研修会の積極的な参加と職員への還元 ○多様な専門性を持つ人材との効果的な連携・分担と組織的・協働的に課題解決に取り組む力の醸成 ○自己管理能力を高め、見通しをもった職務遂行 ○表現力育成を図るためのカリキュラムマネジメントの実施と教師の指導力向上